

## 2014 年度後期 授業評価アンケート結果に対するコメント

### —法学研究科—

法学研究科長 鋤 本 豊 博

評価数値にどれほどの意味があるのかよく分からないが、今回の評価アンケートにおいても、「予習または復習をよくした」(4.25)を除き、従前通り、すべての項目に5点満点で4.5以上の高評価を得たことは、構造的に大きな問題が生じていないことを伺わせるものである。予習・復習項目も、相当程度の予習・復習は当然であるとの意識の反映であったとすれば、大学進学率が53%を越え、実利的な教育が重視されるようになった昨今、学問の府としての大学の存在価値は、大学院教育の中に移行しているように思われる。